

Lesson 3 Practice 1 → 教科書 p.21

※B5版の専用ノートに書き、赤ペンで自己添削する。

※総合英語「Ultimate」第3章「時制」を読んで理解しよう！

解答

1

1. Mr. Jones has three dogs now.
2. The baby is not sleeping in her bed now.
3. She left for London last night.
4. Tom watches TV and studies after dinner every day.
5. I am cleaning my room now.
6. I saw the movie with my brother last night.
7. They were eating lunch when the earthquake struck the city.
8. Practice makes perfect.
9. Suddenly the wind blew and the door opened.
10. Mary is studying hard this week for the exam.
11. He was playing video games all weekend.
12. I usually went to the park when I had free time.

解説

1. 「今、ジョーンズ氏は犬を3匹飼っている」 haveは「～を飼っている」という意味の状態動詞。nowがあることから現在形にする。主語が3人称単数なのでhasとすることを忘れない。
2. 「その赤ちゃんは今、ベッドで眠っていない」 isとnowがあることから現在進行形にする。
3. 「昨夜、彼女はロンドンに向けて出発した」 last nightがあることからleaveの過去形leftにする。
4. 「トムは毎日テレビを見て、夕食後に勉強する」 andの後の動詞が現在形studiesになっていることから、下線部も現在形になるとわかる。また、every dayという頻度を表す副詞も現在形にするヒントになる。
5. 「私は今、部屋を掃除している」 nowがあることから現在進行形にする。
6. 「私は昨夜、兄[弟]と映画を見た」 last nightがあることからseeの過去形sawにする。
7. 「地震が街を襲った時、彼らは昼ご飯を食べていた」「地震が街を襲った時」という過去の時点に行っていた動作なので、主節の動詞は過去進行形となる。
8. 「習うより慣れよ」という意味のことわざ。変わることの無い真理を表す場合は現在形にする。
9. 「突然風が吹いて、ドアが開いた」過去の1回の動作なので、過去形にする。
10. 「メアリーは今週、試験のために勉強を一生懸命している」 isがあることから現在進行形にし、this week(今週)というある期間に繰り返されている動作を表す。
11. 「彼は週末中ずっとテレビゲームをしていた」 wasがあることから過去進行形にし、all weekend(週末中ずっと)というある期間に繰り返されていた動作を表す。

す。

12. 「暇な時、私はたいてい公園に行っていた」 when以下が過去形となっていることから、主節は過去の習慣を表す過去形となる。

ポイント

now「今」、last night「昨夜」、every day「毎日」など、時間を表す表現に着目し、時制を判断する。

2

1. Kate knows a lot about computers.
2. What are you cooking [making]? It smells good.
3. I belonged to the tennis team when I was a junior high school student.
4. Bob was doing his homework when his mother got home.

解説

1. 「知っている」という現在の状態が続いているので現在形で表す。日本語につられて×*is knowing*としないように注意する。knowは状態動詞。
2. areがあることから現在進行形にする。疑問詞を使った疑問文で、「今、何をどうしているか」を尋ねる。
3. 「～に入っていた」という過去の状態を、状態動詞belongの過去形で表す。過去進行形にしないように注意する。belong to ～で「～の一員である、～に所属する」の意味。
4. 「彼の母親が帰ってきた」という過去の時点に行っていた動作なので、過去進行形を使う。

3

1. I believe (in) him.
2. “What time do you get up on weekends [on the weekend]?” “I usually get up at eight (o'clock) in the morning.”
3. They are talking [chatting] in the living room now.
4. She returned [went back, came back] to Brazil last month.
5. I was taking a shower when you called me last night.

解説

1. 「～を信じている」という心理を表す状態動詞believeを用いる。日本語につられて×*is believing*としないように注意する。
2. 現在の習慣を述べるので現在形を用いる。「起きる」はget up。「たいてい」はusuallyで表す。
3. 「今、していること」を表すので現在進行形を用いる。「リビング」はliving room。
4. last month「先月」という過去に1回起きたことなので過去形で表す。「帰国する」はreturnまたはgo back, came backで表す。
5. 主節「シャワーを浴びていました」は、「昨夜あなたが電話をくれた時」という過去の時点に行っていた動作なので、過去進行形で表す。「シャワーを浴びる」はtake a shower。

Lesson 3 Practice 2 → 教科書 p.23

解答

1

1. (I will call him) again tonight.
2. (I think it's going to rain) this evening.
3. (Is Nancy going to visit) Osaka during her stay?
4. (A new shopping mall will open) next month.
5. (Are you going to see him) tomorrow?
6. (I'm going to visit my uncle in) Fukuoka this summer.

解説

1. 「今夜もう一度彼に電話をします」「～するつもりだ」という意志未来を表す文。〈will＋動詞の原形〉の語順にする。
2. 「今晚、雨が降ると思います」 I think (that) ～で始まる文を作る。〈be going to＋動詞の原形〉で「状況から判断した近い未来の予測」を表す。
3. 「ナンシーは滞在中、大阪を訪れるつもりですか」計画を表す文。be going to を使った疑問文なので Is が主語の前にくる。
4. 「来月、新しいショッピングモールが開店する」 will を使った単純未来を表す文。
5. 「明日、彼に会う予定ですか」 予定を表す文。疑問文は Are を文頭にもってくる。
6. 「私はこの夏、福岡にいるおじを訪ねるつもりだ」計画を表す文。my uncle も主語になり得るが、選択肢に is がいないため、I'm を主語とした文にする。

2

1. We (will send) you an email later.
2. Don't worry. She (will be) better soon.
3. If you (win) the match tomorrow, I'll buy you lunch.
4. This time next week we (will be) traveling abroad.
5. Turn the light off when you (leave) the room.
6. Do you know when Mrs. Brown (will come) back?

解説

1. 「私たちは後であなたにメールを送ります」 later は「後で」という未来を表すので、will send が適切。意志未来を表す。
2. 「心配しないで。彼女はすぐに良くなるでしょう」 soon 「すぐに」があることから、will be が適切。予測を表す単純未来。
3. 「もし明日試合に勝ったら、君に昼ご飯をおごってあげよう」 昼ご飯をおごるのは明日のことであるが、条件を表す副詞節では動詞は現在形になる。よって、if 節内の win は現在形が適切。
4. 「来週のこの時間には私たちは外国を旅行しているでしょう」 This time next week 「来週のこの時間に」は、未来の時点を表す表現。その時に進行中だと考えられる動作を表すには未来進行形を使う。

5. 「部屋を出るときは電気を消しなさい」「部屋を出る」という行為はまだ行われていないので未来のことだが、時を表す副詞節では動詞は現在形になる。よって、when 節内の leave は現在形が適切。
6. 「ブラウンさんがいつ帰るか知っていますか」 この when 節は know の目的語となる名詞節。時を表す名詞節では、未来のことは未来を表す表現を用いるので、will come が適切。

3

1. My brother (is) always (playing) online games.
2. The train (arrives) at Yokohama Station at 10 a.m.
3. Let's go fishing if it (is) (sunny [fine,clear]) tomorrow.
4. Mary is (leaving) (for) New Zealand tomorrow evening.
5. The orchestra will (be) (coming) to this city next week.

解説

1. always (頻度を表す副詞) を伴い、進行形で繰り返される動作を表す。話し手の不快感を表すことが多い。
2. 現在形で確定的な未来を表す。この用法では、arrive や leave など、往来・発着を表す動詞がよく使われる。
3. 未来を表す tomorrow があるが、条件を表す副詞節なので、動詞は現在形を用いることに注意する。
4. 近い未来は現在進行形で表すことができる。準備が進行中であるニュアンスがある。
5. 「～することになっている」と、すでに確定している未来の予定を表すときは、未来進行形を用いる。

4

1. "I'll make [cook] dinner [supper] tonight." "What will you [are you going to] make [cook]?"
2. He is always complaining.
3. She is going to go shopping with her mother this weekend.
4. I will be studying in the library (about) this time tomorrow.
5. Please call me before you get to [arrive at] the station.

解説

1. 「～するつもりだ」と意志未来を表す will を使うのが普通。ただし、夕食を作ることを前から予定していたというニュアンスを出すときは、be going to を用いてもよい。
2. always を用い、進行形で繰り返される動作を表す。
3. 「～する予定だ」と前から予定していることを表す 〈be going to＋動詞の原形〉の文を作る。this weekend には in, at, on などの前置詞は不要。
4. 「明日の今ごろ」という未来の時点において行われるであろう動作を表すので、未来進行形を用いる。
5. before 節は未来のことを表すが、when 節と同様、時を表す副詞節なので動詞は現在形にする。

Lesson 4 Practice 1 → 教科書 p.27

※総合英語「Ultimate」第4章「完了形」を読んで理解しよう！

解答

1

1. We (have already eaten) lunch. [㊦]
2. I (have met) her before. [㊦]
3. My brother (has just finished) his homework. [㊦]
4. My grandfather (has lived) with us since I was seven. [㊦]
5. I (have ridden) a horse twice. [㊦]
6. She (has known) him for four years. [㊦]

解説

1. 「私たちはもう昼ご飯を食べてしまった」 already「もう」は完了を表す表現と共に用いられることが多い。
2. 「私は以前、彼女に会ったことがある」 before「以前に」は経験を表す表現と共に用いられることが多い。
3. 「兄[弟]はちょうど宿題を終えたところだ」 have [has] finished ～は「～を終えた」という完了の意味を表す。just は完了形と共に用いて、「たった今(…したばかり)」の意味を表し、完了を表す表現でよく用いられる。
4. 「私の祖父は私が7歳の時から私たちと住んでいる」 since「～以来」は継続を表す表現で用いられることが多い。
5. 「私は2回乗馬をしたことがある」 twice「2度」など回数を表す語句は経験を表す表現で用いられることが多い。
6. 「彼女は彼と4年間知り合いだ」 for「～の間」と期間を表す語は継続を表す表現で用いられることが多い。

2

1. The singer (came) to Japan two years ago.
2. I (haven't sent) the letter to him yet.
3. Meg (received) an email from her cousin last night.
4. What happened to that actor? I (haven't seen) him on TV for a long time.
5. Paul (played) baseball when he was in junior high school.

解説

1. 「その歌手は2年前に来日した」 過去形の文。two years ago「2年前」と過去のある時点を表す語句は、現在完了形とは一緒に使えない。
2. 「私は彼にまだその手紙を送っていない」 現在完了形の否定形を用いて、未完了の状態を表す。yet「まだ」は完了・結果を表す完了形の否定文でよく使われる。
3. 「メグは昨夜、いここからメールを受け取った」 過去形の文。last night「昨夜」と過去のある時点を表す語句は、現在完了形とは一緒に使えない。

4. 「あの俳優に何が起こったのですか。私は長い間テレビで彼を見ていません」 for a long time「長い間」と期間を表す語句があるので、継続を表す現在完了形の文にする。
5. 「ボールは中学生の時に野球をやっていた」 過去形の文。when 節は現在完了形とは一緒に使えない。

3

1. She has just finished the marathon.
2. Bob and Tom have been playing tennis since this morning.
3. I have belonged to the dance team for three years.
4. Chris has been cleaning his room for an hour.

解説

1. 「ちょうど～したところだ」という完了の意味の現在完了形を用いる。「ちょうど」は just。
2. 「ずっと～している」という動作の継続を表す現在完了進行形を用いる。現在完了進行形は〈have [has] been + doing〉の語順。
3. to があることから、belong to ～「～に所属している」を用いる。belong は状態動詞。日本語につられて現在完了進行形を用いないように注意する。
4. 動作の継続を表す現在完了進行形を用いる。「掃除する」は clean。

4

1. My father has been to Germany three times.
2. "Have you read today's newspaper [paper] yet?" "No, I haven't. / No, not yet."
"Did you read today's newspaper yet?" "No, I didn't. / No, not yet."
3. I haven't seen a movie lately [recently].
4. He hasn't [has not] left New York yet.
5. She has been using the [a] computer for two hours.

解説

1. 「～に行ったことがある」なので経験を表す現在完了形 have [has] been to ～を用いる。「ドイツ」は Germany。German「ドイツ人(の)、ドイツ語(の)」と間違えないように。
2. 「～してしまいましたか」は、現在完了形でも過去形でも表せる。現在完了形の疑問文は〈Have [Has] + 主語 + 過去分詞 ～ yet?〉の形になる。「いいえ、まだです」の答えは、完了形の疑問文に対しては、"No, I haven't.", 過去形の疑問文に対しては、"No, I didn't."。"No, not yet."はどちらにも使える返答。
3. 「ずっと～していない」という意味なので、継続の現在完了形の否定文で表す。「最近」は lately [recently]。
4. 「まだ～していない」は未完了を表す現在完了形の否定文で表す。leave「～を発する」の過去分詞は left。「まだ」は yet。否定文では already「もう」は使用できない。
5. 「ずっと～している」という動作の継続を表す現在完了進行形を用いる。

Lesson 4 Practice 2 → 教科書 p.29

解答

1

1. My father told a silly joke, but I (had heard) it before. [イ]
2. The train (had already left) when I arrived at the station. [ア]
3. We (had been) worried about him until he showed up. [ウ]
4. I (had never sent) a letter to a foreign country before I wrote to him. [イ]
5. He (had just finished) his dinner when she came home. [ア]

解説

1. 「父がばかげた冗談を言った」という過去の時点において「以前聞いたことがあった」という経験を、過去完了形(had+過去分詞)で表す。hear の過去分詞は heard。
2. 「私が駅に着いた」という過去の時点において「電車はずでに出発していた」という完了・結果を表す。leave の過去分詞は left。
3. 「彼が現れた」という過去の時点まで「ずっと彼のことを心配していた」という状態の継続を表す。be の過去分詞は been で、過去完了形は had been になる。
4. 「彼に手紙を書いた」という過去の時点の前に「外国へ手紙を送ったことがなかった」という未経験を表す過去完了形の文。send の過去分詞は sent。
5. 「彼女が帰宅した」という過去の時点で「彼はちょうど夕食を食べ終えたところだった」という完了を表す。

2

1. Sam had been playing the video game for two hours when his mother came back.
2. We had been walking for four hours when we reached the top of the mountain.
3. I had never listened to live classical music until I went to the concert.
4. They had known each other for five years when they got married.

解説

1. 「母親が帰ってきた」という過去の時点まで「2時間テレビゲームをしていた」という動作の継続を、過去完了進行形(had been+doing)を用いて表す。
2. 「山の頂上に着いた」という過去の時点まで「4時間歩きっぱなしだった」という動作の継続を、過去完了進行形を用いて表す。
3. 「そのコンサートに行った」という過去の時点まで「一度も生で聴いたことがなかった」という未経験を、過去完了形の否定形を用いて表す。(had never+過去分詞)の語順。
4. 「結婚した」という過去の時点まで「5年間知り合い

だった」という状態の継続を、過去完了形で表す。

3

1. Nancy (will have lived here for ten years) next month.
2. I didn't think that (she had gone home).
3. If I read the book again, (I will have read it three times).

解説

1. 「来月」という未来のある時点における「ずっとここに住んでいる(だろう)」という状態の継続を、未来完了形(will have+過去分詞)を用いて表す。
2. 「彼女が家に帰ってしまった」のも「(私が)思わなかった」のも過去の出来事。過去に起こった2つの出来事の時間的な前後関係は、大過去の文で表す。後で起こった出来事＝「(私が)思わなかった」は過去形(I didn't think)に、先に起こった出来事＝「彼女が家に帰ってしまった」は過去完了形(she had gone home)にする。go の過去分詞は gone。
3. 「その本をもう一度読む」という未来のある時点で「3回読んだことになる(だろう)」という経験を、未来完了形を用いて表す。read の過去分詞は read。

4

1. "The movie will have started by the time we arrive at [get to] the (movie) theater." "(No,) I don't think so. Let's hurry up."
2. We had been talking for an hour when she came [appeared].
3. I had not [hadn't] left home yet when he called me.
4. I didn't know that he had moved to Nagoya.
5. I had never seen a panda until I went to [visited] Ueno Zoo.

解説

1. 「～だろう」から時制は未来のこと、「始まってしまっている」は完了を表しているため、未来完了形を用いる。「～までには」は <by the time S+V> で表す。「映画館に着く」のは未来の出来事であるが、時を表す副詞節では動詞は現在形(arrive)になる。「急ぐ」は hurry up。
2. 「～だった」から時制は過去。「彼女がやって来た」という過去の時点まで「1時間話をしていた」という動作の継続を表すので、過去完了進行形を用いる。
3. 時制は過去、「彼が電話をしてきた時」という過去の時点で「家を出ていない」という未完了を表すので、過去完了形を用いる。
4. 「私は知らなかった」の部分は過去、「引越した」はさらに過去(大過去)なので過去完了形を用いる。
5. 時制は過去、「上野動物園に行った」という過去の時点まで「見たことがなかった」という未経験を表すので、過去完了形を用いる。未経験を表す否定文では、not ではなく never を用いることに注意する。

ポイント

まずは時制(現在・過去・未来)を決定し、その後で完了形(完了形・完了進行形)について考えるとよい。